

# Mizuho Daily Market Report

2024/3/20

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.21	150.86	+1.71	+3.18
EUR	1.0854	1.0866	▲0.0006	▲0.0061
AUD	0.6518	0.6532	▲0.0028	▲0.0074
SGD	1.3419	1.3420	+0.0028	+0.0097
CNY	7.1995	7.1994	+0.0010	+0.0168
MYR	4.7337	4.7370	+0.0190	+0.0588
THB	36.05	36.09	+0.11	+0.52
IDR	15719	15715	+25	+125
PHP	55.91	55.92	+0.37	+0.60
INR	82.99	83.04	+0.13	+0.27
VND	24719	24750	+25	+106

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.293%	▲3.2 bp	+14.2 bp
日本(10年)	0.741%	▲2.6 bp	▲2.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.450%	▲0.9 bp	+12.0 bp
オーストラリア(5年)	3.720%	▲6.3 bp	+9.9 bp
シンガポール(5年)	3.059%	+0.3 bp	+8.9 bp
中国(5年)	2.207%	▲0.8 bp	▲5.8 bp
マレーシア(5年)	3.584%	+0.1 bp	+3.3 bp
タイ(5年)	2.246%	+0.4 bp	+5.4 bp
インドネシア(5年)	6.539%	+0.1 bp	+5.6 bp
フィリピン(5年)	6.080%	+0.0 bp	▲0.6 bp
インド(5年)	7.108%	+0.8 bp	+5.8 bp
ベトナム(5年)	1.760%	+3.0 bp	+9.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,110.76	+0.8%	+0.3%
N225(日本)	40,003.60	+0.7%	+3.1%
STOXX50(ユーロ圏)	5,007.92	+0.5%	+0.5%
ASX(オーストラリア)	4,224.36	+0.1%	▲0.2%
FTSE1(シンガポール)	3,173.55	+0.1%	+1.0%
SSEC(中国)	3,062.76	▲0.7%	+0.2%
SENSEX(インド)	72,012.05	▲1.0%	▲2.2%
JKSE(インドネシア)	7,336.75	+0.5%	▲0.6%
KLSE(マレーシア)	1,544.96	▲0.6%	▲0.6%
PSE(フィリピン)	6,848.43	▲0.1%	▲0.5%
SETI(タイ)	1,382.46	▲0.3%	+0.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,242.46	▲0.1%	▲0.2%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	286.86	▲0.1%	+3.1%
金	2,157.59	▲0.1%	▲0.0%
原油(WTI)	83.47	+0.9%	+7.6%
銅	8,986.11	+0.0%	+5.0%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.60	—	151.40
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3250	—	1.3480
USD/CNY	7.1750	—	7.2280
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.20	—	36.78
USD/IDR	15580	—	15900
USD/PHP	55.00	—	56.30
USD/VND	82.30	—	83.20
USD/VND	24,500	—	24,900

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

ドル円は149円台前半でアジア時間オープン。東京時間の正午過ぎにマイクス金利・YCCの撤廃が日銀より公表されると直後にこの日の安値となる149円ちょうど近辺まで瞬間的に下落。しかし、長期国債の買い入れ継続など、「緩和的な環境が継続」されることが示されたこともありすぐに円売りに転じる。総裁会見がハト派になると見込んだ向きもある中、150円台前半まで上値を伸ばし欧州市場へ渡った。アジア通貨は全般的に下落。日銀の政策発表後に対円でドル買いが強まった流れが他通貨にも波及し、総じてドル買い優勢の展開となった。

海外市場のドル円は150円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米2月住宅着工件数と建設許可件数が共に予想を上回るも、ドル円は反応薄。その後は海外時間の流れを引き継ぎ、円が一段と売られた事から150円台後半まで上値を伸ばし、高値圏での推移が続く。次第に、翌日に発表されるFOMCの結果待ち姿勢が広がり、動意に乏しい展開となり150円台後半でクロスした。

## 【金利】

金利市場は、中期を中心に小幅低下。金利カーブはブルスティープ化。NY朝方に発表された住宅関連指標は予想、前回比とも強い内容となったが、FOMCを翌日に控え、このところの売り優勢に反転の動きが見られ、午後の取引で特に金利は低下。20年物国債の入札は好調となり、発表後に買いが強まった。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日日銀はマイクス金利の解除に踏み切ったが、緩和的な環境が継続するとの見方に変わりはない中、発表後は円安で反応。本日はFOMCに注目が集まるが、足元では市場における利下げ観測が後退しており、早期利下げを示唆する内容とならない限りはドル高円安トレンドは継続しそうだ。

## 【本日の予定】

(日本) 休場 春分の日  
(アジア) 1Q NZ ウェストハック消費者信頼感  
(アジア) 4Q NZ 経常収支  
(アジア) インドネシア 金融政策会合  
(アジア) 中国 LPR(1Y, 5Y)  
(欧州) 1月 ユーロ圏 建設業生産高  
(欧州) 1月 伊 鉱工業生産  
(欧州) 1月 英 住宅価格指数  
(欧州) 2月 独 PPI  
(欧州) 2月 英 CPI / PPI  
(欧州) 2月 英 小売物価指数  
(欧州) 3月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)  
(欧州) ラガルド ECB総裁講演  
(欧州) 独 国債入札(30Y)  
(米国) FOMC  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) ハウエルFRB議長会見

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。